

日魯漁業	昭興汽船	八馬汽船	大同海運	三好治太郎	都汽船	日ノ出汽船	北日本外六社	宮城漁業	日魯漁業	太平漁業	尼崎汽船	日本合同工船	長井商店	中外商店	川崎汽船	日魯漁業	日本タンカー	北日本汽船及	樺太汽船
第三雲海丸	天光丸	海祥丸	ぶらじる丸	第二高速丸	扶鈴桑丸	相州丸	英丸	英丸	九葉丸	信濃丸	山東丸	七葉丸	六大運丸	玉鉾丸	平壤丸	椿名丸	帝洋丸	全社船	三陽丸
八月八日	八月九日	八月十四日	八月十七日	八月二十日	八月二十日	八月廿六日	八月初旬	八月八日	八月初旬	九月五日	九月六日	九月十九日	同右	九月十八日	九月廿五日	九月三十日	十月三日	十月五日	十月九日
勘察加荷役賃協定	治療費及雇入期間其 他	儲船期限満期に依る 解散手當	増員並に危険手當	北千島沖取手當	オリーブタイム及船艙 掃除費	火夫長二等機關士代 川手當	増員要求	増員要求	休航中及作業手當	休航中の船番人待遇	危険手當金算定見解 相違	休航中の船番人待遇	増員要求	航路手當	解散手當	定期備船に依る乗組 員待遇改善	増員要求	時間外労働手當	解體に依る解散手當
一、鮮魚詰一兩二錢 一、ウイッチ番タリマン等を船員使用の場合は一 日一兩八十錢、この場合オリーブタイム一時 間二十錢支給 一、但一日とは朝六時より夕六時迄とし其の前後 の時間中に爲したる荷役に對しては一兩に付 二割増の二錢四厘とす 一、火夫長の入院料七十四圓八十五錢を會社より 支拂せしむ 一、雇入期間一ヶ月となりを六ヶ月と改む 一、首席料理人の給料五十圓なりしを六十圓支給す せしめ雇入更新の時附長に昇格し六十五圓支給す 一、一年迄一ヶ月四分の一、二年以上迄一ヶ月半、二 年迄一ヶ月四分の三、二年以上迄一ヶ月半、二 圓但一名臺灣迄送還旅費二十五圓別に金一封百圓 支給 一、甲機各一名増員、爆發物危険手當はガソリン手當 の二倍支給 一、鮮一尾處理料七厘、鱒一尾處理料三厘として 處理料合計四百七十九圓四十九錢六厘 一、雜貨及石炭荷役賃三百二十二圓 一、一ヶ月以上の母船作業手當として二百圓 一、船長に對する作業手當五十圓 以上合計千五百一十一圓六十八錢支給 一、オリーブタイムは一時間十五錢とし甲機部各二名、 船艙掃除手當は月額十圓支給の暫定的協定成立 一、日より機部見習を廢し本員を雇入れる 月額金五圓支給	一、鮮魚協業締結 一、一隻に付甲部水夫長外三名、機部火夫長外三 名、合計八名を當番とす 一、給料水夫長は月額五十圓、他は四十圓 一、食料金月額各自十五圓 組合の協定通り支給 一、甲機とも水夫長の他各一名合計六名を船番 人とす 一、給料水夫長五十圓 一、食料金一名に付額十五圓 火夫一名増員 六月二十二日の海事懇話會の申合せに従ひ七月一 日に廻りて支給 全員を豫備員として給料及食料の半額支給 團體協約締結 右の結果最低給三十八圓のもの十割増の實狀とな り更に勤続加俸及食料戻金を加算すれば十二割増 となる 油差一名、火夫二名増員 團體交渉締結 一年迄二ヶ月、一年を増す毎に四分の一増加、旅 費十五圓、解散當日迄給料支給																		